

6. 就職・進学支援

6.1 進路決定状況

令和6年度卒業生の進路決定状況は次のとおりです。（学部24期生・修士22期生）

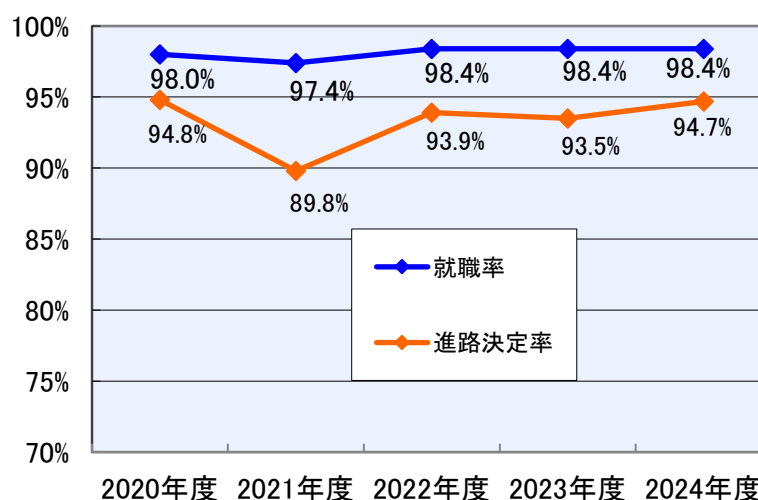
令和6年度の進路決定状況

	卒業生	進学希望	進学決定	就職希望	就職決定	その他	就職率	進路決定率
理工学研究科	35	2	2	33	33	0	100.0%	100.0%
学部 合計	246	51	51	185	183	12	98.9%	93.8%
応用化学生物学科	65	20	20	43	43	2	100.0%	95.6%
電子光工学科	89	16	16	67	67	6	100.0%	91.8%
情報システム工学科	92	15	15	75	73	4	97.3%	94.8%
全体 合計	281	53	53	218	216	12	99.1%	94.7%

就職率＝就職決定者／就職希望者、進路決定率＝就職決定者／（卒業者数－進学者数）

令和6年度は、前年と比較しても採用決定の前倒し傾向が顕著に見られました。早くから活動を始めた学生は、早期に内々定を得ています。また、就職環境は十分な求人があるものの、企業の選考基準は高く設定されている傾向にあり、大学としては引き続き学生一人ひとりの相談に応じ、また、助言を行いながら、学生の進路決定に力添えしてまいります。

卒業生の就職率および進路決定率の年度別推移状況（過去5年間）



6. 就職・進学支援

6.1.1 就職状況

産業分類別 就職状況

令和6年度の産業分類別採用状況は次のとおりです。

情報通信業	43.3%
製造業	16.2%
サービス業（他に分類されないもの）	10.2%
卸売業，小売業	10.2%
建設業	5.1%
学術研究，専門・技術サービス業	3.7%
教育，学習支援業	2.8%
公務（他に分類されるものを除く）	2.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	1.9%
運輸・郵便業	1.4%
宿泊業，飲食サービス業	1.4%
医療，福祉	0.5%
生活関連サービス業，娯楽業	0.5%
複合サービス事業	0.5%

資本金別 就職状況

令和6年度に採用された企業等の資本金に関する分布は次のとおりです。

100 億円以上	16.2%
10 億円以上 100 億円未満	14.8%
1 億円以上 10 億円未満	30.1%
5,000 万円以上 1 億円未満	14.4%
5,000 万円未満	18.5%
その他（公務員、団体など）	6.0%

主な就職先

令和6年度卒業生実績（五十音順） ※企業差し替え

○企 業

■アイエスエフネットグループ ■アイシン・ソフトウェア株式会社 ■株式会社 i D
■株式会社アインホールディングス ■株式会社アウトソーシングテクノロジー ■株式
会社アズテックス ■株式会社 A D E K A ■株式会社アドウェイズ ■株式会社アプリ
システムズ ■アベテック株式会社 ■アルティウスリンク株式会社 ■株式会社アルト
ナー ■株式会社アルファシステムズ ■株式会社アルプス技研 ■株式会社一寸房 ■
株式会社インターネットイニシアティブ ■株式会社インフィニットループ ■インフォ
テック株式会社 ■株式会社インプル ■ウェルスナビ株式会社 ■H I S ホールディン

グス株式会社 ■株式会社エイチ・アイ・ディ ■株式会社HDC ■株式会社HBA ■
 ARアドバンステクノロジー株式会社 ■エクシオエンジニアリング北海道株式会社 ■
 株式会社エクソル ■株式会社エスイーシー ■SOC株式会社 ■SWCC株式会社
 ■SBテクノロジー株式会社 ■株式会社エスユーエス ■NECソリューションイノベ
 ータ株式会社 ■NSW株式会社 ■NTTアノードエナジー株式会社 ■株式会社NT
 TデータMSE ■株式会社NTTデータ北海道 ■株式会社NTTドコモ ■王子ホー
 ルディングス株式会社 ■大井電気株式会社 ■株式会社オープンストリーム ■オムロ
 ンフィールドエンジニアリング北海道株式会社 ■株式会社 Olivier ■株式会社コロソ
 ビアスポーツウェアジャパン ■株式会社菊水 ■北ガスジープレックス株式会社 ■株
 式会社北弘電社 ■株式会社グランベルホテル ■株式会社グリーンハウス ■クレス
 コ・イー・ソリューション株式会社 ■KDDI株式会社 ■コムチュア株式会社 ■株式
 会社札幌進学プラザ ■三愛オブリ株式会社 ■株式会社サンドラッグプラス ■サンネ
 ット株式会社 ■株式会社シーアールイー ■株式会社シーヴィテック北海道 ■システ
 ムサービス株式会社 ■ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社 ■J
 ALデジタル株式会社 ■ジョンソンコントロールズ株式会社 ■新光商事エルエスアイ
 デザインセンター株式会社 ■株式会社ストライプインターナショナル ■株式会社スリ
 ーエス ■株式会社ソフトクリエイティブホールディングス ■株式会社ソフトコム ■ソフ
 トバンク株式会社 ■空知リゾートシティ株式会社 ■ソリューションプラス株式会社
 ■ダイヤモンドヘッド株式会社 ■株式会社第一岸本臨床検査センター ■ダイト株式
 会社 ■株式会社ダイナックス ■大丸株式会社 ■田岡化学工業株式会社 ■WDB株式
 会社 ■エウレカ社 ■W2株式会社 ■千歳空港モーターサービス株式会社 ■株式
 会社つうけんアドバンスシステムズ ■土屋グループ ■株式会社ディーエイチシー ■株式
 会社DSR ■株式会社DG フィーリスト ■株式会社デジサポ ■株式会社デジタル・
 ブレイン ■株式会社デジック ■テラテクノロジー株式会社 ■電制コムテック株式
 会社 ■株式会社電通総研IT ■東芝デジタルソリューションズ株式会社 ■東芝ホクト
 電子株式会社 ■東邦電子株式会社 ■株式会社トータルデザインサービス ■株式
 会社DONUTS ■トキワ地研株式会社 ■苫小牧埠頭株式会社 ■トヨタ自動車北海道株式
 会社 ■西日本電信電話株式会社 ■日興システムソリューションズ株式会社 ■日鉄ソリ
 ューションズ北海道株式会社 ■日本精機株式会社 ■日本電気航空宇宙システム株式
 会社 ■日本郵便株式会社 ■株式会社ニトリ ■日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株
 式会社 ■日本システム技術株式会社 ■日本ソフト技研株式会社 ■日本電設工業株式
 会社 ■株式会社ネクシス ■株式会社ノースディテール ■パーソルAVCテクノロジー
 株式会社 ■パーソルクロステクノロジー株式会社 ■株式会社バーナードソフト ■
 株式会社HARP ■株式会社パソナ ■浜理PFST株式会社 ■株式会社ビズポイン
 ト ■株式会社日立製作所 ■株式会社日立ソリューションズ ■BIPROGY株式
 会社 ■株式会社ヒューマンウェイブ ■株式会社フェローズ ■富士ソフト株式会社 ■
 富士フイルムビジネスイノベーションジャパン ■税理士法人フューチャーコンサルティ

6. 就職・進学支援

ング ■株式会社ブレインパッド ■株式会社P r o V i s i o n ■株式会社B A K E
■株式会社ベルク ■株式会社ボーネルンド ■北栄機装株式会社 ■ホクレン農業協同
組合連合会 ■株式会社北海電工 ■北海道運搬機株式会社 ■北海道キング設計株式会
社 ■北海道総合通信網株式会社 ■国立大学法人北海道大学 ■北海道電気技術サービ
ス株式会社 ■北海道電力ネットワーク株式会社 ■北海道日紅株式会社 ■北海道不二
サッシ株式会社 ■北海道放送株式会社 ■北海道三菱電機販売株式会社 ■北海道旅客
鉄道株式会社 ■株式会社マーブル ■三菱電機株式会社 ■三菱電機ビルソリューションズ株式会
社 ■三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社 ■ミネベアミツ
ミ株式会社 ■ミハル通信株式会社 ■美和電気工業株式会社 ■株式会社メイコー ■
株式会社明治ゴム化成 ■株式会社メイテックフィルダーズ ■メイビスデザイン株式会
社 ■矢崎総業株式会社 ■株式会社U-NEXT HOLDINGS ■株式会社ユニ
ットシステムエンジニアリング ■株式会社夢真 ■Rapidus 株式会社 ■Re-bu 北野
教室 ■リコージャパン株式会社 ■リベルダージ ■レイズネクスト株式会社 ■株式
会社ログオンシステム ■株式会社ロバパン

○公務員・教員

■小樽市消防 ■国土交通省 北海道運輸局 ■札幌市役所 ■航空自衛隊（自衛官候補
生） ■北海道庁
■北海道斜里高等学校 ■北海道羽幌高等学校 ■北海道羅臼高等学校

6.1.2 進学状況

令和6年度の卒業者・修了者のうち大学院への進学者は53名で、うち本学以外の大学の
大学院への進学は、北海道大学大学院15名、東京科学大学大学院1名、大阪公立大学大学
院1名でした。また、本学大学院博士後期課程への進学は2名でした。

6.2 就職支援状況

学生の就職活動を支援するため、5名の教員（キャリアセンター長1名、副センター長4
名）と事務職員6名（キャリア支援課長1名、係長1名、係員4名）の体制で指導を行い、
本年度は次の活動を行いました。

- ・学部4年及び大学院博士前期課程2年の就職活動支援（就職相談、履歴書添削、面接
練習等）
- ・学部1～3年及び大学院博士前期課程1年の将来を見据えたキャリア形成プログラムの
実施
- ・インターンシップ受入企業開拓
- ・キャリアセンター教員、キャリア支援課職員による個人面談
- ・教職員による企業との関係維持強化及び企業訪問
- ・学内個別業界研究会
- ・学内企業説明会、選考会の実施

また多数の教職員の協力を得て、就職活動の支援を実施しました。

6.2.1 キャリア形成プログラム

学部 3 年生を対象に、年間を通してキャリア形成プログラムを実施しました。このプログラムでは、早期化する就職活動に対する準備から、社会人としての成長を促すことを主な目的としています。主な内容は次のとおりです。

(春学期)

・キャリアセンターガイダンス ・選考試験で重視されていること ・採用情報を活用した企業選びのコツ ・伝わるエントリーシートの書き方 ・アセスメントプログラムの実施及び解説 ・職業適性検査の実施及び解説 ・面接対策 ・先輩インタビュー ・インターンシップガイダンス ・企業講話 ・就活マナー ・早期選考対策

(秋学期)

・就活準備講座 ・インターンシップガイダンス ・ワークルール ・自己分析 ・受験先の絞り方 ・履歴書、エントリーシートの書き方 ・SPI 模擬テスト ・学科別ガイダンス ・自己 PR 動画作成会 ・面接対策 ・グループディスカッション対策 ・大学院生の就活 ・就活直前総まとめ講座 ・就職ガイダンス

6.2.2 学内セミナー

「学内業界研究セミナー」をキャリア教育の一環として、学部 1～3 年生及び大学院博士前期課程 1 年生を対象として実施しました。本セミナーは、学生がこれから迎える就職活動や就職へ向けてミスマッチがおきないように、業界・仕事への理解を深めることを目的としています。令和 7 年 2 月 5 日（水）～7 日（金）の 3 日間の日程で開催し、期間中 145 社にご参加いただきました。

6.2.3 OB・OG 対話

「OB・OG 対話」は、これから就職活動を行う学部 3 年生と大学院博士前期課程 1 年生が、社会で活躍する本学の OB・OG と双方向で対話することにより、業界・仕事への理解を深め、就職活動に役立てることを目的としています。令和 6 年度は、全国各地より企業で活躍する 9 社 9 名の OB・OG の方々にご参加頂き、参加学生にとって就職活動へ向けて、意識を高める絶好の機会となりました。

6.3 企業と大学の情報交換会

企業と大学の情報交換会を 11 月 22 日（金）東京会場（152 社参加）および 11 月 27 日（水）オンライン会場（102 社参加）で開催し、参加企業の皆様と本学教職員との活発な意見交換ができました。

6.4 就職資料室の改修

6. 就職・進学支援

研究・実験棟 2 階 就職資料室の改修を行いました。企業情報、求人票等の情報提供をデジタル化し、紙の企業別ファイルを撤去しました。これに伴い、新たに個別相談用ブース 2 室、キャリアアドバイザーとの面談カウンター等を設置し、相談・支援体制の強化を図りました。さらに、近年増加しているオンラインでの企業説明会や面接に参加する学生向けに「1 人用個室型ワークブース」を就職資料室に 1 台、情報棟に 2 台設置しました。